

「異文化理解から見た明治時代のシェイクスピア受容の一考察—坪内逍遙を中心に—」(『武蔵野学院大学大学院研究紀要』第2輯、武蔵野学院大学、平成21年4月)、55-65頁

概要

「プロローグ」「1 『異文化理解』とは何か」「2 明治期におけるシェイクスピアの捉え方」「3 坪内逍遙とシェイクスピア」「4 演劇改良運動とシェイクスピア」「エピローグ」の順で論じた。「明治期における異文化理解としてのシェイクスピアの中心はドラマツルギーの理解といった演劇の本質に関わるもの」として結論付けた。(B5)